

血液内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成 26 年文部科学省・厚生労働省告示第 3 号）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

【研究課題名】 血液製剤による HIV/HCV 重複感染者の肝細胞癌(HCC)合併に関する全国調査

【研究機関名・長の氏名】 北海道大学病院 寶金 清博

【研究責任者名・所属】 遠藤 知之（血液内科・講師）

【研究の目的】 血液製剤による HIV/HCV 重複感染の患者さんに肝細胞癌がどの程度発生するか、またその特徴を明らかにします。

【研究の方法】

○ 対象となる患者さん

血液製剤により HIV/HCV ともに重複感染した患者さんで、平成 31 年 3 月 31 日までに肝細胞癌を発症した方。

○ 利用する情報

- ・ 患者さんの背景：年齢・性別・肝機能・Child-Pugh スコア、model for endstage liver diseases(MELD) スコア、治療、治療後再発の有無と時期、HIV 治療内容、HCV 治療の有無と内容、死因（死亡例）
- ・ 血液学的検査：白血球数、赤血球数、ヘモグロビン、血小板数、CD 4 実数
- ・ 血液生化学検査：総タンパク、アルブミン、AST、ALT、総ビリルビン、
- ・ 画像診断：腫瘍の数/大きさ
- ・ 病理所見：腫瘍の分化度、脈管浸潤の有無と程度、背景肝の状態

○ 研究方法

上記のデータにより、HIV/HCV 重複感染の患者さんとそれ以外の肝細胞癌を発症した方との違いを調査し、HIV/HCV 重複感染の患者さんの肝細胞癌の特徴を明らかにします。

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせするこ

とができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院血液内科 担当医師 遠藤 知之

電話 011-706-7214 FAX 011-706-7823